

早朝、イマジナリー・グリーンハイツ・井田

ミヤザキさんが咳をこじらせて気管支炎にかかって一日じゅう寝込んでいる
というので

一リットルのイオン・ウォーターとその他救援物資を持って行く、グリーン
ハイツ・井田

そういう周期も重なっていたら大変だろうな、と買っていた鉄分入りの紙
パック飲むヨーグルトを見て

さすがに差し入れスキルが高すぎると褒められたので、これからも自信を持
って生きていこうと思う

でもまさか今日泊っていくと思わなかったんだけど、なんで、どうしたの、
と訊くので

うーん、なんとなく、暇だったから、と言う

ひまつぶし、ってことだ、都合がいいだけじゃん、と言うのであわててそん
なことない、と

否定しながら、言い終わるころには気付く

ミヤザキさんはなんとなくぼくの回路が読めるから、それをころころ転がし
て楽しんでいる

むずかしいこと言うけど、実は何も考えてないから接しやすいんだよね、と
言われた日から

飛躍する話題の間に的確な理由を見つけてくるミヤザキさんをぼくはすごい
と思っている

夜中、イマジナリー・グリーンハイツ・井田

ひとりじゃなかなか眠れないから添い寝してほしいと言われたので素直にそ
うしたら

この布団って意外と広いんだねって一個の枕の上で柔らかく笑っていたこと
がある

しんどそうに激しく咳き込む背中をさすりながらミヤザキさんを寝かしつけ
る